

Pb-P006

会場：Lounge

時間：6月26日 17:30-19:00

各種メソシデライト隕石の比較研究

Comparative Study of Five Mesosiderites.

都丸 明子[1], 矢内 桂三[2], 藤巻 宏和[3]

Akiko Tomaru[1], Keizo Yanai[2], Hirokazu Fujimaki[3]

[1] 東北大・理・地学, [2] 岩手大・工・建設環境, [3] 東北大・理・地球物質

[1] Sci.,tohoku Univ., [2] Dept. Civil and Environ., Faculty of Engin., Iwate Univ., [3] Inst. Min. Pet. Econ. Geol., Tohoku Univ.

メソシデライト隕石(Mesosiderite)はFe-Ni合金部と珪酸塩鉄物部からなる石鉄隕石の一種である。

本研究ではメソシデライト隕石についてその岩石学的特徴および鉄物組成について研究し、各種メソシデライトの特徴を明らかにしようとした。

今回使用した試料は、南極産 A-882023 と ALH-77219、アメリカ産 Estherville、ドイツ産 Hainholz、そしてチリ産 Vaca Muerta の五つの研磨薄片(PTS)である。

各メソシデライトの珪酸塩鉄物部は角レキ質で鉄物組成および化学組成は類似しているものの、結晶の形状やFe-Ni合金と珪酸塩鉄物部の量比はさまざまである。

また今回は珪酸塩鉄物部をホワルダイト(Howardite)のKapoetaと、隕鉄のSikhote-Alinとの比較も行った。